

2026年度 愛知県キャンプ協会総会議事録

日時：2026年5月17日(日)9時30分～10時35分

会場：至学館大学9000号A12講義室

1 開会のことば（平松理事長）

出席者26人、委任状38名、合計64人（正会員72人）*会則19条第1項 正会員数の3分の1以上の出席をもって成立。

2 あいさつ 武藤会長

愛知県キャンプ協会の将来計画を「愛知県キャンプ協会戦略プラン2025」については、日本キャンプ協会から次期ビジョン2030は今年に公表される予定ですので、今年度、本協会では戦略プラン2025の評価を上半期に行い、課題を反映させた次期戦略プランを下半期に策定できるよう進めていきます。今年度が愛知県キャンプ協会の未来像を構築する再スタートの年となります。

3 議事録署名人選出 ※事務局から提案された議長の武藤会長の他、山根理事と正会員の江川博一氏を選出した。

4 議事 議長 <武藤会長> *会則19条第2項「総会の議長は会長とする。」

第1号議案 2025年度事業報告（説明：平松理事長）

1) 2025年度総会（2025年5月18日）。正会員76人中、参加26人、委任状38人。全議案賛成多数で承認。

2) 普及推進事業

・あいちキャンプフェスタ2025 *（公社）日本キャンプ協会ビジョン2025推進事業。子どもゆめ基金助成活動。

協賛：プランナーズランド株式会社、有限会社エスエスプリント、釣り具のマルハン。

①大高緑地会場（9月28日）：7アクティビティ。参加者2162人：子ども1162人、おとな950人。

②安城デンパーク会場（10月12日）：5アクティビティ。参加者1560人：子ども838人、おとな722人。

2つの事業でのべ12団体がアクティビティを運営。①63人、②40人の運営補助スタッフ。実行委員会を7回実施。

・子どもキャンプ 期日：2月28日（土）-3月1日（日） 運営役員：1人（内田理事）

会場：刈谷市立洲原ロッジ 定員30人 参加者22人 運営スタッフ：10人

子どもたちの人格形成を助長する教育キャンプは、今日のキャンプブームとは別に、これからも愛知県キャンプ協会をはじめ、県内キャンプ指導者団体が信念をもって継続していくことを推進することを考える機会となった。

3) 研修事業

・キャンプアカデミー2025

第1回：「アウトドアによるまちづくりとひとづくり ～愛知県設楽町の理念と戦略～」

期日：5月18日（日）11:30～12:30 定員50人 参加者27人

講師：愛知県北設楽郡設楽町企画ダム対策課 アウトドアまちづくり推進室 加藤 志歩 室長

第2回：災害時に備えるキャンプ講習会 定員15人 参加者5人

期日：9月6日（土）～7日（日）

講師：認定NPO法人愛知ネット指導員、愛知県キャンプ協会役員

第3回：「Northeast YMCA Camp Conference 報告・社会課題に向けたキャンプの取り組み」

期日：2026年3月7日（日）10:30～11:45 定員30人 参加者10人

講師：遠藤 恵美子（愛知県キャンプ協会理事 公益社団法人名古屋YMCA）

4) 指導者養成事業

・キャンプインストラクター養成講習会 参加者：12人。資格申請9人（2026年度会員）

期日：2026年2月21日（土）～2月23日（月・休）会場：豊田市総合野外センター 定員30人

内容：各種野外技術の取得と知識の修得のため、実習・講義を実施した。

5) 愛知県キャンプ協会将来計画 「戦略プラン2022-2025」

「戦略プラン2022-2025」について、進んでいない内容もあるが、2025年度の達成状況の評価を行った。2026年度以降作成する次期戦略プランに反映させる。

6) 調査・情報発信事業

正会員69人（団体会員含む）。広報誌64号（9月）、65号（3月）を発行するほか、ホームページのリニューアルを検討していたが進めることができなかった。将来計画と併せて検討しており2026年度中も継続して実施する。

7) 事務局

（公社）日本キャンプ協会及び中部・北陸ブロックの県キャンプ協会との連携により会議及び各種事業に参加。

「みんなでエンジョイにこにこキャンプ」9/14（日）やなぎた植物園（石川県鳳至郡能登町）に5人の理事が運営参加。

「2025中部北陸ブロックmeeting・キャンプアカデミー」講師：中村正雄副会長。参加者8県33人、日キャン事務局3人

第2号議案 2025年度収支報告（説明：増田理事）・監査報告

<主な収入>

・会費のべ327人、団体会員11人。会費収入約76万円、事業収入約20万円、補助金収入約160万円 他。

・雑収入として協賛企業からの協賛金、複合機利用料（事務局併設）として合計約18万円。

・補助金（子どもゆめ基金）の未確定分があり2026年度の収入として計算する。

<支出の部>

・中部・北陸ブロック事業「にこにこキャンプ」他の運営のための事業費、また、管理費において費目予算を超過したため、予備費及び当初予定していた運営基金の積立金を、事業費及び管理費それぞれの不足分に振り分けて補正を行い対応した。

・当期収入の範囲内で当期支出を賄う運営であったが、適正な支出かどうかの検証を引き続き進める。

<運営基金>

- ・40周年記念事業（記念誌、記念品の作成）の残金約40万円を運営基金に繰り入れた。

<監査報告>（監事からの報告を平松理事長が代読）

- ・帳簿、領収書、預金通帳等すべて適正に処理され、帳簿等にされている。
- ・これまで指摘してきた「会員数減少の要因分析」および「会員サービスや事業内容の見直し」について、一定の取組は認められるものの、それらが会員数の増加や収入の拡大といった具体的な成果に結び付いているとは言い難い状況である。
- ・会費収入および研修会収入を中心とした従来の収入構造のままでは、将来的に安定的かつ継続的な運営は困難であると考えられます。継続的な支援が得られる企業等団体会員の確保を含め、具体的な収支改善策を伴う事業計画を策定するとともに、実効性ある見直しを早急に行うことを求めます
- ・一部事業において、経費精算の遅れが確認されました。理事会においては、すべての事業について年度内完結を原則とした厳格な精算管理を徹底し、単年度ごとの事業収支を明確に把握・検証できる会計管理体制を速やかに確立すること。

<第1号議案、第2号議案 一括の質疑応答として質問を確認したが質問はでなかった>

審議の結果、第1号議案、第2号議案ともに賛成多数で承認された。

第3号議案 2026年度事業計画（説明：平松理事長）

- ・いくつかの事業は2025年度と同様であるが、2026年度事業計画のとおり実施して行く。
- ・「戦略プラン2022-2025」の検証を上半期に行い、2026年度の公表される日本キャンプ協会の「ビジョン2030」を参考に次期戦略プランの策定を行う。
- ・中部北陸ブロック県協会と連携し、日本キャンプ協会設立60周年記念事業他、ブロックでの協働事業に協力していく。

第4号議案 2026年度予算案（説明：増田理事）

- ・監事からの指摘事項を踏まえ、会員数の維持と事業毎に適正に運営する。
- ・次の周年事業に向かって毎年少しずつ積み増していくことにして、2026度は10万円積み立てる。

・ <第3号議案、第4号議案 一括の質疑応答 以下、発言内容と回答>

○井野口正会員から2026年度予算案について以下の質問がなされ、増田理事が以下の回答を行い了承された。

- ・収入の部の団体会費及び団体の入会金の項目の備考に新規団体3団体とあるが入会の見込みがあるか。
- ・支出の研修会費のスタッフ謝金の項目が0円であるが、見込みがあるのであれば記載する必要があるのでは。

○回答（増田理事）→ 2026年度に関係のある企業等に話を進めており、団体会員として加入の見込みがある。
→ スタッフ謝金については、ここ数年基本的に支払いの実績が無いので計上していない。

審議の結果、第3号議案、第4号議案ともに賛成多数で承認された。

第5号議案 2026年度役員（理事の追加）

平松理事長より2026年度役員で2名の理事の追加について説明がなされた。

新理事	伊豆原 充	理事（社会貢献・社会連携担当	愛知県キャンプカウンセラー協会OB)
	中安 修	理事（運営改革担当	三井住友信託銀行)

審議の結果、第5号議案が賛成多数で承認され、新理事の2名の自己紹介がなされた。

5 その他（時安事務局長）

（公社）日本キャンプ協会の2026年度事業カレンダー及び2026年9月に実施される予定の設立60周年記念事業の概要、日本キャンプ協会指導者養成事業の進捗状況について報告がなされた。

以上、議事録に間違いありません。

2026年5月17日

議長

武藤 正美

議事録署名人

山根 真紀

議事録署名人

江川 博